

春先の除草に努めましょう！！

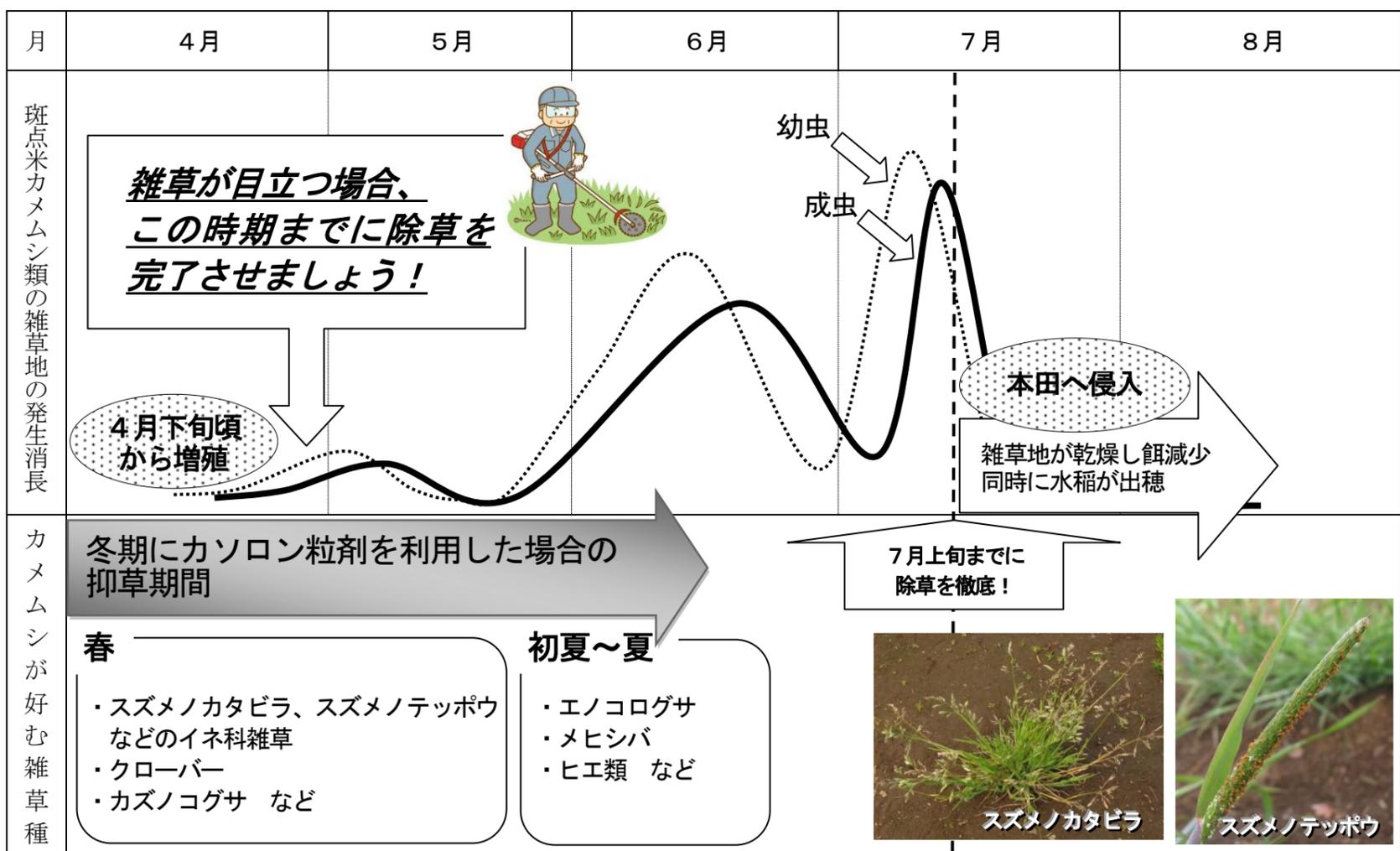
カメムシの生息数は近年増加しており、昨年も県全体で平年の2.3倍と多発しました。
本田薬剤防除だけでは、斑点米の発生を防げません。

春先にカメムシの生息地となる畦畔、農道の雑草が多い場合は、4月下旬までの除草に努めましょう。

斑点米発生防止の春作業時期ポイント！

4月中の除草（その後、6月頃の除草＋7月上旬の仕上げ除草を実施）

※地域ぐるみの一斉防除を実施しましょう。



(参考) 石川県に多く生息する斑点米カメムシ類

	アカヒゲホソドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	トゲシラホシカメムシ	ホソハリカメムシ
形態	 <ul style="list-style-type: none"> ○ 体長：5～6mm ○ 緑色で赤いヒゲが特徴 ○ 飛翔性 	 <ul style="list-style-type: none"> ○ 体長：4.6～6mm ○ 黄緑色で背中中の赤いスジが特徴 ○ 飛翔性 	 <ul style="list-style-type: none"> ○ 体長：4.5～7mm ○ 淡褐色で黒い点刻あり ○ 歩行性 	 <ul style="list-style-type: none"> ○ 体長：8.5～11mm ○ 黄褐色で肩の先端が尖る ○ 飛翔性

※29年度では、畦畔除草剤体系試験を下記の通り設置しています。

設置場所	備考
J A支店	地区
J A松任中央支店	一木地区
J A松任西南支店	小川地区

カソロン粒剤6. 7と、ダイロンゾル+バスタ液剤の体系試験（継続）
グリホサート抵抗性オオアレチノギク対策を目的とした除草体系の検討（新規）